

「生協の（未来の）あり方研究会」研究集会 第二次共著「協同による社会デザイン」発刊記念

第二次共著の視座をとおり、 東海地域の共同購入事業（生協）の今を捉え直し、 あり方・革新性を考え合う

「生協の（未来の）あり方研究会」

地域と協同の研究センターに設置する「生協の（未来の）あり方研究会」では、前著「未来を拓く協同の社会システム（2013年10月発行・日本経済評論社）」に続き、第二次共著「協同による社会デザイン（日本経済評論社）」を2019年4月25日に発刊しました。前著発刊以降も続く現代社会の課題の深刻化を前に、未来社会を切り拓く生協運動の価値をさらに発揮して欲しいという期待から、具体的な提言を立論構成したいとの想いです。

第二次共著発刊を記念して、研究集会を開催します。

今回は共同購入事業に焦点をあてて、そのあり方を見つめ直し、革新性に迫ります。

日本の生協の特徴のひとつと位置付けられる「共同購入事業」は「共同購買・分け合い」と表現をし直せば、「協同組合の定義：協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である」を言い現したような生活協同組合の根幹をなす、事業と運動と言えるのではないのでしょうか。



「生協の（未来の）あり方研究会」研究集会

日時 9月1日（日）13:00～16:00

会場 全労済金山会館ワークライフプラザれあろ

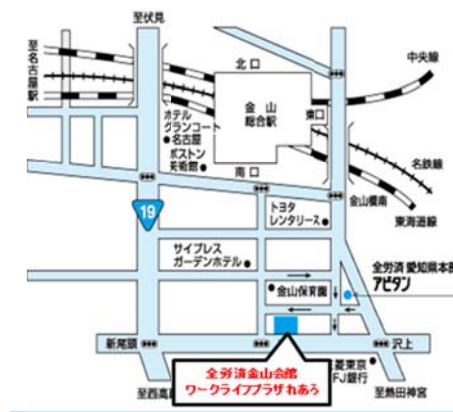
6階大会議室（名古屋市熱田区金山町1丁目14-18）

資料代 300円

参加申し込み・問合せ 地域と協同の研究センター

phone:052-781-8280, fax:052-781-8315, e-mail:AEL03416@nifty.com

※当日のすすめ方（具体化中）は裏面をご覧ください



〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目14-18

「生協の（未来の）あり方研究会」研究集会参加申し込み

お名前	お住まい（市町村）	連絡先

申込先 地域と協同の研究センター事務局

申込連先等 phone : 052-781-8280 fax : 052-781-8315 e-mail AEL03416@nifty.com

いただいた個人情報は研究集会の運営にのみ使用します

研究集会のディスカサーと進め方

生協の（未来の）あり方研究会・第二次共著の提言から「地域社会」「格差社会」をキーワードに、共同購入事業（生協らしさ）の視座を、そして、総括的な視点から「共同購入事業（生協）の今と未来」を提言します。

そして、第2部にあたる「東海における生協の今」は東海3生協（2生協を柱に依頼中）から共同購入事業の現状（問題）と課題（悩み）を持ち寄ります。そして、共同購入事業を連帯運営する東海コープ事業連合にも参加いただき、連帯のあり方にも迫ります。

<第1部にあたる第二次共著からの提言者>

- 地域社会と生協の事業：小木曾洋司氏（中京大学教授）
- 格差社会と生協：加賀美太記氏（就実大学准教授）
- 共同購入事業（生協）の今と未来…生協らしい存在価値の創出に向けて
：兼子厚之氏（元地域と協同の研究センター理事）

<第2部にあたる実践家からの現状・課題（悩み）報告>

- 3生協共同購入事業主幹部署、および東海コープ事業連合から3者（相談中）

<タイムスケジュール（予定）>

13:00	I. 開会と本研究集会の趣旨説明（5分）
13:05	II. 第二次共著からの提言（各25分・75分） 1) 小木曾洋司氏 ○ 第二次共著発刊の発表 ○ 「地域社会の当事者性を創る—生協が拓くコミュニケーションの役割—」から「地域社会と生協の事業（仮題）」 2) 加賀美太記氏 ○ 「格差社会における生協事業—生協は変わる社会と消費にどう応えるか—」から「格差社会と生協（仮題）」 3) 兼子厚之氏 ○ 総括的な提言「共同購入事業（生協）の今と未来…生協らしい存在価値の創出に向けて」
14:20	休憩（10分）
14:30	III. パネルディスカッション（90分） 「東海における生協（共同購入）の今（悩み）」を共有し、視座と提言を切り口に、「生協らしさ」を考えます。 実践家と第二次共著提言者によるパネルディスカッションと全体討議。 1) 実践家から「現状と課題（悩み）」の報告 東海コープ事業連合と2生協（相談中）の報告（各10分・30分） 2) 現状と課題（悩み）の報告に関して、二次共著の提言者からの視点開示 (20分) 3) 視点に基づき、会場討論で「生協らしさ」に迫る（35分） 4) まとめ（5分）
16:00	閉会